

2019年2月20日
ハートツリー株式会社

AUN Jコラボレーション企画リリース第1弾！

**世界で大絶賛を浴びる和楽器ユニット
「AUN Jクラシック・オーケストラ」が、**

**10周年を記念し、各界著名ミュージシャン10組と、
コラボレーションアルバム&リリースツアーが決定！**

ハートツリー株式会社（本社：東京都港区）は、昨年デビュー10周年を迎えた、世界で活躍する、和太鼓、箏、尺八、篠笛、三味線、鳴り物のみで構成された**和楽器ユニットAUN Jクラシック・オーケストラ**が、デビューから10年間でご縁のあった、著名ミュージシャンの皆様とのコラボレーションアルバム「響（ひびき）～THE SOUNDS OF JAPAN～」を発売します。

コラボレーションするのは、ワシントンDC桜フェスティバルで共演した「**渡辺美里**」さん、題名のない音楽会でご一緒した「**石丸幹二**」さん、9年前に共演し、昨年秋にもご一緒した、超絶技巧のピアニスト・音楽家「**H ZETT M**」さん、ミャンマーでも大人気で、スピルバーグ監督の映画「レディ・プレイヤー1」でハリウッドデビューし、昨年ブレイクを果たした「**森崎ウィン**」さん、沖縄出身の歌姫「**上間綾乃**」さん、連弾のピアノが人気の斎藤兄弟の「**レ・フレール**」さんなど計10組。残りの4組は、3月以降、随時発表します。

アルバムのテーマは、和楽器の特徴を活かし、聴いた人皆様の心に「**ふるさとの音が響く**」こと。10曲のうち6曲は、AUN Jクラシック・オーケストラのオリジナル楽曲に、歌詞をつけ、和楽器のみの演奏にて歌い上げていただきます。

また、5月4日浅草花劇場での森崎ウィンさんとのコラボレーションコンサートをスタートに、コラボミュージシャンとのコンサートを開催します。世界遺産でのコンサートも予定していますので、3月以降、随時発表いたします。

残りの4曲も、誰もが知るレジェンドミュージシャンや、これからメジャーデビューする期待の若手など、和楽器の世界が広がる方々ばかりです。リリースは随時行っていきますので、どうぞ期待ください。

■アルバム概要（予定）

- **タイトル**：「響（ひびき）～THE SOUNDS OF JAPAN」
- **演奏**：AUN Jクラシック・オーケストラ
- **発売日**：2019年6月12日（水）
- **定価**：3,000円（税別）
- **発売元**：ハートツリー
- **JAN**：後日
- **品番**：後日

ジャケットデザイン
COMING SOON

□収録曲（予定）

- ・ **ふるさと** feat. 渡辺美里
（作詞：高野辰之・作曲：岡野貞一）
- ・ **ONE ASIA** feat.石丸幹二
→AUN J オリジナル曲
- ・ **Mirai** feat.上間綾乃
→当アルバムのための書き下ろし。
- ・ **Spirit of the Motherland** feat.森崎ウィン
→AUN Jオリジナル曲
- ・ **Geometric life（共作オリジナル新曲）** AUNJ×H ZETT M
→H ZETT MとAUN Jの井上公平の共作。
- ・ **万殊の灯りに想いを馳せて** feat.レ・フレール
→AUN Jオリジナル曲

その他4曲は、3月より随時発表します。

計10曲。

■コンサート概要

リリースイベント第一弾！

ハリウッドデビューで話題の若手実力派シンガー“森崎ウィン”との共演が決定！

“AUN Jクラシック・オーケストラ「The Sound of Japan」Tour 2019”

- **日時** 2019年5月4日（土） 15：00開演
- **場所** 浅草花劇場 東京都台東区浅草2-28-1
※浅草花やしき内に2019年5月にオープンする劇場。
- **コラボレーションゲスト** 森崎ウィンさん
- **チケット価格** 前売 5000円 立ち見 4500円
- **主催** ハートツリー
- **協力** スターダストプロモーション
- **チケットお問い合わせ** キョードー東京 TEL：0570-550-799
（平日11:00-18:00 / 土日祝 10:00-18:00）
- **チケット発売日** / 2016年4月6日（土）AM10:00～

□「AUN」クラシック・オーケストラ」プロフィール

『音楽には、国境はないが国籍はある』

和太鼓・三味線・箏・尺八・篠笛・鳴り物。通常一緒に演奏されることのない和楽器を再編成し独自の音楽性を追究する、2008年結成された和楽器のみのユニット。各楽器の第一線で活躍する邦楽家8人が集結し、一級の古典技術と新世代の感性を兼ね備えた、聞きやすく誰にでも楽しめる楽曲は、他の和楽器グループにはない独自の世界観を作り上げている。

伝統と革新を高いレベルで両立させたクオリティとパフォーマンス性は、海外においても高い評価を得ており、**世界初のフランス・モン＝サン・ミッシェル内**でのライブ演奏など、世界遺産での公演多数。2013年には**アンコールワット公演**を皮切りに、2016年までASEAN全10カ国を巡り、各国民俗楽器アーティストとの「ONE ASIAジョイントコンサート」を成功させる。アメリカでも、2014年大リーグボストンレッドソックスの本拠地**フェンウェイパークにての合衆国歌演奏**、ワシントンD.C.桜祭りオープニングステージで演奏。

国内では、2015年東京ドームでの君が代演奏をはじめ、**伊勢神宮や薬師寺**など日本を代表する名所にて公演多数。メディアは、BS日テレでの7年連続の2時間特番や、eテレ「にほんごであそぼう」、「題名のない音楽会」など多数出演。

子どもたちに日本文化を伝える活動として、全国300校超の小学校を訪問、和楽器演奏と桜を植える活動も実施。日本文化の普遍性や多様性を国境を超えて発信することで、世界が音楽でつながるための挑戦を続けている。



□「渡辺美里」プロフィール



1985年デビュー。翌年「My Revolution」がチャート1位となり、同年8月、女性ソロシンガーとして日本初となるスタジアム公演を西武スタジアムにて成功させる。以降20年連続公演という前人未達の記録を達成し、渡辺美里の活動の中でも代名詞的な存在となる。

2005年西武スタジアムに終止符を打った翌年からは、毎年「美里祭り」と題し、様々な都市でLIVEを開催。渡辺美里の活動は音楽だけにとどまらず、ラジオのパーソナリティー、ナレーション、2012年、2014年はミュージカル「アリス・イン・ワンダーランド」で不思議の国を支配する『ハートの女王』を演じるなど、様々な分野にチャレンジし続けている。

そしてデビュー30周年を迎えた2015年は、19枚目のオリジナルアルバム『オーディナリー・ライフ』を携え47都道府県で「美里祭り」を開催。

2016年1月、30周年の集大成と31年目のスタートとして、横浜アリーナでの公演を大成功させ、春からはオーケストラとのコラボレーションによるコンサートを全国で開催。

2017年、2018年は精力的に全国コンサートツアーを行い、各種イベントにも多数出演した。今年、4年ぶりとなる「美里祭り」を6月15日、日比谷野外大音楽堂で行うことが発表され、来年デビュー35周年を迎えるにあたり、オリジナルアルバムの発売、2年にまたがる大規模な全国ツアーを計画中である。

□「石丸幹二」プロフィール



東京音楽大学でサクソ、東京藝術大学で声楽を学ぶ。1990年、ミュージカル『オペラ座の怪人』（劇団四季）のラウル子爵役でデビュー、劇団の看板俳優として、『美女と野獣』、『ウエストサイド物語』等に出演する。2009年に退団後もミュージカル界をけん引する俳優として『ラブ・ネバー・ダイ』『ジキル&ハイド』『パレード』などに主演する。

音楽活動は、ソロアルバム「My Favorite Songs」「My Musical Life」等のほか、リュート奏者つのだたかしの「武満徹のうた」をリリース。映画「サウンド・オブ・ミュージック」製作50周年記念盤ではトラップ大佐役を吹替えた。

多彩にコンサートを展開する一方で、テレビでは、テレビ朝日「題名のない音楽会」の司会を初め、NHK「うたコン」、フジテレビ「ミュージック・フェア」など、大人が楽しめる音楽番組に多数出演。クラシック音楽とは「朗読」に関わることが多く、ストラヴィンスキー「兵士の物語」では、サイトウ・キネン・フェスティバル（Vn郷古廉）、宮崎国際音楽祭（Vn徳永二男）、ル・ボン国際音楽祭（Vn樫本大進）等に出演するほか、ストラヴィンスキー指揮盤「兵士の物語」に新たに日本語朗読を収録。東京フィルハーモニー交響楽団のグリーグ/劇付随音楽「パール・ギュント」（指揮・ミハイル・プレトニョフ）で全編をひとりて朗読するなど、声の表現の多様性を探っている。

□ 「森崎ウィン」プロフィール



1990年生まれ、ミャンマー出身。小学校4年生の時に日本へ渡る。2008年よりダンスボーカルユニット・PrizmaXのメインボーカルとして活躍中。俳優としても様々な映画に出演し、2014年には『シェリー』で映画初主演を務める。2018年、日緬共同制作映画『My Country My Home』に出演、そのスピンオフであるドラマ版『My Dream My Life』では主演を務め、現地のテレビ局mntvで冠番組を持つなど、ミャンマーで大ブレイク。また、スティーブン・スピルバーグ監督『レディ・プレイヤー1』のオーディションでメインキャストであるダイトウトシロウ役に抜擢され、ハリウッドデビューを果たした。2019年には、史上初の快挙となる<直木賞>（第156回）と<本屋大賞>（2017年）のW受賞を果たし映像化不可能と言われた、現代を代表する作家の一人、恩田陸の名作『蜜蜂と遠雷』の実写映画にメインキャストであるマサル・C・レヴィ・アナートル役での出演が決定している。

□ 「H ZETT M」プロフィール



ピアニスト/エンターテイナー/音楽家

超絶技巧に加え、“無重力奏法”と形容される超人的パフォーマンスは実験音楽と高度な芸術性が融合している。

この時代だからこそ生身の人間の可能性を追求し、ただひたすらに音楽を奏でるというテーマのもと、グランドピアノ1台と彼の体だけでの全26曲レコーディングを収録したアルバム『未来の音楽』、『魔法使いのおんがく』を2012年と2013年に立て続けに発表、2017年に同シリーズの最新アルバム『共鳴する音楽』を発表した。

これらの作品を機に始まったピアノ1台だけでの“独演会スタイルライブ”は、時にシニカルでユーモア溢れる彼の人間性が現れ、彼の一挙手一投足にまで満員の観客が釘付けになる。

並行して活動しているトリオ編成によるバンド“H ZETTRIO”とは一味違ったその世界観は各方面から好評を得ている。

□ 「レ・フレール」プロフィール



斎藤守也（さいとうもりや・兄）と斎藤圭土（さいとうけいと・弟）の兄弟によるピアノデュオ。

兄弟ともにルクセンブルク国立音楽学校に留学。ガーリー・ミューラー氏に師事し、クラシック・ピアノを学ぶ。コンポーザー・ピアニストとしてオリジナル楽曲の制作とライブを両軸に活動。故中村とうよう氏（音楽評論家）に「斎藤守也・圭土の音楽は、いま世間一般に流通するどの音楽ともまったく似ていない。（『芸術新潮』2008年11月号）」と評された独創的な楽曲とピアノプレイスタイル「キャトルマンスタイル」を兄弟二人で確立。2本の手では成し得ない演奏法を4本で探りながらできた、そのプレイスタイルは他に類をみない。2017年9月に5枚目となるアルバム『Piano Infinity』

（Universal Music）をリリース、アルバムをたずさえたツアーを行う。

結成時から続けている保育園や幼稚園での演奏活動や、災害復興を機にプロジェクト化した「こどもたちへの音楽支援活動」を全国各地で行うなど、次世代のこどもたちへの芸術文化発展にも大きな力を注ぎ、「レ・フレール」という唯一無二の音楽ジャンルを形成しながら世界に向けて発信しつづけている。

□ 「上間綾乃」プロフィール



沖縄県出身。

7才から唄三線を習い始め、19才で琉球国民謡協会教師免許取得。2017年師範免許取得。沖縄民謡で培った声をベースに、聴く者の心を揺さぶってやまない深い表現力の圧倒的なステージを繰り広げる。久方ぶりに現れた沖縄が育んだ大器として、今後の活躍が大きく期待される実力派唄者である。海外アーティストとのコラボレーションも積極的に行う。メジャーデビュー5周年の2017年「タミノウタ」CD発売。